

世界の債券市場で債務の膨張が警戒され、債券利回りは上昇（価格は下落）傾向が続いている。米PGIMフィクスト・インカムで副会長兼チーフ・グローバル・エコノミストを務めるダリープ・シン氏に、市場や世界経済の見通しを聞いた。（聞き手は佐伯遼）

トランプ関税、FRBへの影響は？

独立性侵害、世界のコスト



PGIMフィクスト・インカム副会長
ダリープ・シン氏

Daleep Singh 米バイデン政権において国家安全保障担当副補佐官（国際経済担当）および国家経済会議副委員長として、ロシアに対する制裁の制度設計や通商政策に携わる。ニューヨーク連邦準備銀行におけるマーケットグループの責任者の経験も持つ。4月から現職。

ものだ」

「米連邦準備理事会（FRB）の政策に及ぼす影響は。」

「関税は税金の形で課されるため、成長を鈍化させインフレを加速させる。関税収入は約280億ドル（約4兆1000億円）に達し、問題はこの280億ドルを誰が負担するかだ。歴史的に見ると関税は主に消費者に転嫁される傾向がある。FRBの利下げは1%とどまると予想する」

「トランプ政権下での合意は完全に完了することはない。常に変化し続ける

求を強めています。」

「危険な展開だ。ホワイトハウスとFRBの間の制

度上のファイアウォールは米国の金融政策の信頼性にとってドルは世界の準備通貨としての地位を維持し、米

エルFRB議長への辞任要

義の終わりを意味している

「そうではない。ドルはグローバル金融の実行シ

テムのようなものだ。代替手段は存在しないが、米国の

「ドル安は米国例外主義

の摩擦が生じる。財政支出

が増え、インフレ率が高ま

り、金利が上がる。過去30

「金融市場はどつたり

術による生産性向上がもた

らすグローバルな経済の長

期的な変革の可能性に目を

「より高いリスクプレミ